

2018（平成30）年度
事業報告書

1.全体状況

社会福祉法人博朋会は、福祉サービスを必要とする方が心身ともに健やかに生活され、社会・経済・文化その他あらゆる分野の活動に参加する機会を創出し、その環境、年齢及び心身の状況に応じて、必要なサービスを提供することを目的として、平成17年度に開設しました。

開設13年を迎えた平成30年度は、ケアハウス入居者の個人個人の身体状況の差が激しく、それぞれの状態において対応していくことの厳しさを感じています。

特定施設入居者介護では、平成30年度より加算を増やし、介護報酬収益を増加させています。しかし、経年劣化による支出が増え、経営状況は厳しい現状です。

研修や職員会議等にて、苦情・事故・ヒヤリハット等あらゆる問題を職員間で共有し、対応策を検討実施し、再発防止に努めます。さらに、感染症・身体拘束・虐待・災害・ハラスメント等の研修を継続して行っています。

また、慢性的な人手不足による職員の身体・メンタル面においても心配な状況ではあります。今後は、職員が心身共に健康な状態を維持できるように努めるとともに、経営状況を改善していきたいと考えます。

2.入居状況

①入居数統計（3/1現在）

1) 階別入居者数

26/26名（100%）

特定		3階	4階	5階	6階	計
入居者数		7	6	6	7	26
男女比	男	0	0	1	2	3
	女	7	6	5	5	23

31/32名（96%）

ケアハウス		7階	8階	9階	10階	計
入居者数		8	7	8	8	31
男女比	男	0	4	1	3	8
	女	8	3	7	5	23

2) 年齢別（歳）

	60～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90以上	計
男性	0	0	1	1	5	1	2	10
女性	0	1	2	3	13	11	17	47
計	0	1	3	4	18	12	19	57

	最低年齢	最高年齢
男性	71	92
女性	67	106

②月別入居者数（各月初 統計）

	特定		ケアハウス	
	入居者数（人）	入居率（%）	入居者数（人）	入居率（%）
4月	26	100	29	90
5月	26	100	29	90
6月	26	100	31	96
7月	25	96	32	100
8月	26	100	31	96
9月	25	96	30	93
10月	26	100	30	93
11月	26	100	31	96
12月	26	100	32	100
1月	26	100	32	100
2月	25	96	32	100
3月	26	100	31	96
平均	25.7	99	30.8	95

③介護サービス利用状況（3/1 現在）

1) ケアハウス入居者の要介護度

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
対象者数(人)	7	5	4	1	0	0	0	16
入居者比(%)	22	16	13	3	0	0	0	51

2) 特定施設入居者の要介護度（予防含む）

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
対象者数(人)	1	0	16	2	1	6	0	26
入居者比(%)	4	0	62	8	4	23	0	100

3) 利用サービス（ケアハウスのみ、複数利用あり）

	利用者数(人)
居宅介護支援	16
訪問介護	11
デイサービス	5
デイケア	1
福祉用具レンタル	4
福祉用具購入	0
住宅改修	0
合計	37

④事務費階層別（3/1 現在）

	事務費	人数(人)ケ	事務費	人数(人)特定
1'	7,000 円	2	7,000 円	0
1	10,000 円	14	10,000 円	11
2	13,000 円	1	13,000 円	0
3	16,000 円	0	16,000 円	4
4	19,000 円	0	19,000 円	0
5	22,000 円	1	22,000 円	0
6	25,000 円	0	25,000 円	0
7	30,000 円	1	30,000 円	3
8	35,000 円	2	33,400 円	3
9	40,000 円	1	〃	0
10	45,000 円	3	〃	2
11	50,000 円	0	〃	0
12	57,000 円	1	〃	0
13	62,000 円	5	〃	3
14	62,500 円	0	〃	0
合計		31		26

3.事業報告

①入居者が気持ち良く安らかに生活していただけるよう、環境を整える。

・ 衛生・清潔

職員により、食堂・浴室・共用トイレやロビー等共用部分の清掃を行うようにしている。厨房や食堂は業者による害虫駆除、厨房機器の保守点検を引き続き行った。

レジオネラ対策としては、循環風呂の水抜きと浴槽内の清掃を週 1 回行い、残留塩素の測定、塩素濃度を一定に保つようにした。又、年 1 回業者によるポンプや循環器の点検作

業を行っている。

・点検

入居者に安全にご利用していただく為に、巡回時や清掃時に破損故障箇所がないか点検を行い、エレベーターや消防設備等は業者による定期的な点検を行った。

特に、エレベーターには遠隔監視を導入し、24時間遠隔で、エレベーターの安全管理ができています。

スプリンクラー設備を全館に配備し、火災に対する安全面を強化している。

②入居者の体調・精神面の変化が以前に比べ著しく、健康で安全な生活をして頂ける様、さらに気配り目配りを強化している。

ケアハウス入居者は、体力面の低下が顕著な為、食事時の食堂での見守りを通し、体調や心理面での不安等を伺い、必要に応じ、居室への訪問・巡回、話の傾聴に努めている。

特定施設入居者へは、入浴前に看護師によるバイタル測定を行い健康管理に配慮し、本人が希望されない場合は入浴を中止したり、無理がない様にしている。又、歯科医による往診があり、歯科衛生士による口腔衛生に努めている。

介護職員は日々状態が変化される入居者と深くかかわり、看護職員、機能訓練指導員の協力のもと、入居者の状態変化など早期発見に努めた。

その他、訪問医による往診時に必要な情報を提供し、受診介助が必要な方に対しては受診同行を行い、主治医やご家族、介護サービス事業所、居宅介護支援事業所との連携を図っている。

③入居者に満足していただける食事を提供する。

・栄養管理

食事基準を作成し、入居者の摂食状態や病状等の特性に合わせて、食事を提供している。食事が入居者の健康維持、増進の支援、QOL向上につながるよう心掛けている。

また、入居者の意見、調理者の意見を取り入れ、商品の変更や新たな食材を取り入れるよう変化に富んだものになっている。

平成30年度行事食一覧

月	行事食
4月	花まつり膳、花見弁当
5月	憲法記念日、端午の節句
7月	七夕
9月	敬老の日、秋分の日
10月	バーベキュー、秋の行楽弁当
11月	勤労感謝の日
12月	冬至、クリスマス、大みそか
1月	お正月祝膳、七草粥
2月	節分、建国記念日、バレンタイン
3月	ひなまつり、春分の日

- ・食事提供状況

入居者の身体状況、生活習慣、治療状況に合わせた調理形態（一口大、きざみ、ミキサー、ソフト）をとっている。
介護スタッフと連携をとり、病状の考慮や、嗜好等の対応、服薬に伴う禁止食品の対応を行っている。また、朝食時に選択メニュー制度を取り入れ、入居者に食事を選んでいただけるようにしている。

- ・入居者の意見の反映

入居者の意見が食事内容に反映されるようアンケート形式で嗜好調査を行っている。食事意見箱を設置し、いつでも意見をいただける状況にしている。また、入居者から直接意見をいただくこともある。これらの食事評価を厨房内で共有し、よりよい食事提供に繋がるように生かされている。

- ・衛生管理

厨房内の衛生管理に関してはチェック表を作成し、実行している。夏場やノロウイルスの流行時期には特に意識を高めている。また、衛生管理に関する研修会にも積極的に参加し衛生管理の徹底に努めている。

- ・料理レクリエーション

食を通じて、日常生活にも変化をもつていただくために、秋にはバーベキューを行っている。

- ・介護スタッフとの連携

給食会議を行い積極的な意見交換を行い、業務の改善や満足度の向上に努めている。

- ・ソフト食への取り組み

常食を食べることが困難になった方への食事形態として平成 27 年度よりソフト食を取り入れている。花型のカップ等の様々な型を用いソフト食を作っている。見た目も常食に近づけるような工夫を凝らしたソフト食の提供に努めている。

④入居者が快適に生活していただけるよう、各種サービスを提供していく。

- ・移動美容室・各種売店・買い物代行

以上の項目について、サービスを手配している。

特に移動売店は、月に 4 回、1 階フロアで開くようにし、皆様に好評で特定施設入居者だけでなくケアハウス入居者の方も多く利用されるようになった。

⑤四季折々の行事を開催し、入居者の方に季節感を味わって頂く。

2017（平成 29）年度行事

	行事名	内容
4 月	お花見	甘酒を作り、お花見を楽しむ
5 月	どんたく 菖蒲湯	どんたく隊来所 浴室に花ショウブを飾る
6 月	外出行事（ケア） 外出行事（特定）	回転寿司にて食事を楽しむ 入居者それぞれ希望の場所へ

7月	七夕 子ども獅子舞	笹に短冊を飾り、かき氷やお茶を楽しむ 若宮神社より来所
8月	花火大会鑑賞 京大落語	屋上を開放し、たくさんの地域住民の方にも 来て頂く。ビール・ジュース・かき氷の販売 京大より落語研究部が来所。 落語を披露してもらい楽しまれた。
9月	敬老祝賀会 バーベキュー大会	敬老のお祝いをする ボランティアによる歌で楽しむ 2階テラスにて
10月	秋祭り	開設記念行事と併せて、ボランティアの方や 地域の方々も参加し楽しむ
11月	外出行事	特定：買い物や café 等 ケア：コスモス見学・みなみの里
12月	餅つき ゆず湯 忘年会（居酒屋）	昼食の時間に合わせて餅つき 浴槽にゆずを浮かべ、季節を味わう 2階食堂にて、お酒やおつまみで団欒
1月	元旦 新年会・映画鑑賞	お屠蘇で乾杯 映画を鑑賞しながらお茶を楽しまれた
2月	節分	スタッフの鬼役で豆まき
3月	ひな祭り 花見	雛飾りを鑑賞し、ピアノと二胡の演奏を聴き ながら、お茶とおやつを楽しむ 桜茶を味わいながら、お花見を楽しむ

ビハーラカフェ

月1回、地域とのふれあいを目的とした地域カフェも4年目となりました。毎回、たこ焼き・ケーキ・アイス等を作ったり、運動・合唱・講座等、趣向を凝らしたおもてなしを社会福祉協議会や民生委員、ボランティアの方々と共に開催しています。

今年度は、大濠公園の花火大会に合わせてビハーラカフェを開催したところ、100人近くの方が足を運んでいただきました。

開設して12年目を向かえ、単調な生活にならないよう、日本の伝統行事を中心に、どんたくの様な博多ならではの行事も交え、毎月の行事を計画した。特定施設とケアハウスの入居者の身体状況に差がある為、外出を伴う行事は分けて行い、施設内での一緒に出来る行事は入居者も職員も共に楽しめた。

特定施設では、個人個人の希望を取り入れ、ショッピングセンターや本屋への買い物、カフェでのお茶、ボートレース等それぞれに楽しんでおられた。

ケアハウスでは、外出行事を計画しても、なかなか参加人数が集まらず、苦慮することが多いが、平成29年度はシーホークへ食事に行ったり、呼子のイカを食べに行ったり出来た。今後も様々な観点から検討していきたいと思う。

地域社会との交流については、毎年 舞鶴中学より 1 年生 20 人前後、福祉体験学習に来られたり、月一回の中央保育園からの園児訪問、5 月のどんたく隊の訪問、地域カフェの開催により、入居者と地域の皆様の交流を更に増やしていこうと思う。

⑥入居者とスタッフの「ほのぼの」とした人間関係をつくります。

・入居者への声かけ

入居者の要望に、迅速に対応するため、特定・ケア関わらず、積極的にスタッフから声かけを行った。また、入居者からスタッフに気軽に意見などを話されることも多くなり、今後もこのような関係を維持できるよう努める。隠れたニーズの対応のために、意見箱を玄関受付横に設置し、意見があったときは月に一回の職員会議で議題として取り上げ、回答するようにしている。早急に対応すべき要望については、その都度話し合いを行い、対処していくように心掛けている。

・明るい挨拶

朝晩の挨拶はもちろん、入居者の外出の際でも「いってらっしゃい」、「おかえりなさい」など全スタッフが挨拶できるように気をつけ、入居者の方が気持ちよく過ごせるように気をつけている。又、特定入居者、ケア入居者にかかわらず、スタッフ全員で見守ることができるようにしている。

職員研修状況

平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月

月 日	研 修 名	参加人員
5/22	給食施設従事者研修	1
7/12	介護保険事業者研修	1
7/18	人権・同和問題企業事業主研修	1
8/7	ケアプラン研修	1
9/3	福祉サービス苦情解決従事者研修	1
9/27	人権・同和問題合同研修会	1
10/5	感染症予防等講習会	
10/5	リスクマネジメント研修	
10/11	救急法研修	1
10/16	訪問介護サービス提供責任者就任前 3 年未満研修 (計 4 回)	
10/16	感染症予防研修	
10/20	医療・介護福祉栄養セミナー	
11/8	ふくおか身体拘束ゼロ作戦	1
11/13	地域ケア研修	1
2/27	認知症対応力向上研修	1

4. 理事会・評議員会開催状況

月 日	内 容
6 / 1	《理事会》 ・評議員欠員に伴う評議員推薦について ・平成29年度事業報告について ・平成29年度決算について ・定時評議委員会日程及び議案について ・(予防) 特定施設入居者生活介護事業所運営規定変更について
6 / 23	《評議員会》 ・平成29年度計算書類等及び財産目録の承認について ・社会福祉法人博朋会役員報酬規程について ・絵批正29年度事業報告について
3 / 16	《理事会》 ・平成31年度事業計画(案)の件 ・平成31年度予算(案)の件 ・経理規程改定の件 ・資金運用規定の件 ・役員等報酬規程改定の件 ・育児休業規程・介護休業規程廃止の件 ・育児・介護休業等に関する規則の件 ・契約職員従業規則改定の件 ・パートタイマー・アルバイト就業規則改定の件 ・ケアハウスビハーラ今泉利用料金変更及び重要事項説明書変更の件

5. 平成30年度 福祉サービスに関する苦情・相談等

- ・平成30年8月 ケア入居者より、入浴時間に関する要望あり。
 - ▶ 女性入居者の増加や、夜間外出される方の増加に伴い、夕食後の浴室が混雑することが多く、決められた時間内での入浴が困難な状況であり改善策を検討。
 - ▶ 入居者の推移と生活状況を考慮し、入浴時間を20時30分までだったのを21時までとする事とした。入居者に対しては、口頭で説明及びポスターで掲示した。変更後、苦情は出ておらず、浴室も21時で問題なく施錠できている。